

桑原武夫——京大人文研育ての親

[くわばら・たけお]

一九〇四(明治三七)年、福井県敦賀市生まれ。

京都大学文学部フランス文学科卒。

東北大学助教授などを経て、一九四八年から一九六八年まで

京都大学人文科学研究所教授、所長を務める。

専攻はフランス文学。

また十二年間、学術会議副会長も務めた。

著書は、『桑原武夫全集』(全八巻、朝日新聞社)、

『文学入門』(岩波新書)、『ヨーロッパ文明と日本』(朝日選書)ほか多数。

一九八八年没。

加藤 「しょせん何とかにすぎない」というのがいまちよつと出ましたけれども、この前ある人に会いました。その人は桑原先生に、あなたはいろんなことをなさったけれども、しょせんあなたのやったことは思いつきにすぎないと批判したらたちまち、すぎないかしらんが、おまえ思いつき言うてみいと反問されてギャフンとなったそうです。(笑)

学問の世界——碩学に聞く

加藤秀俊、小松左京 編

講談社現代新書 (1978)、講談社学術文庫 (2002)